

第48回淑楓祭

テーマ

咲

10/28(土)・29(日)

大学

笑顔が咲き誇る淑楓祭

長久手キャンパス

今

年の淑楓祭は「咲(えみ)」をテーマに掲げ、第48回を迎えました。テーマの「咲」にはコロナ禍から完全復活し芽吹いた花が咲くという願いを込め、テーマを連想させる花の装飾物がキャンパス内を彩り、学内団体の皆さんがステージ発表や教室企画で日々の成果を存分に発揮しました。

1日目のトークショーは佐野勇斗さん、2日目の後夜祭にはばーていーちゃんの3人をゲストに迎えました。

ステージでは、実行委員によるクラブ対抗イントロクイズや、来場者の方にも参加していただくクイズ企画などが催されました。また、チャアリーディング部やよさこい、書道部などの学内団体による圧巻の



J.D.Sによるダンスステージ



書道パフォーマンス



PVSHによるアカベラ披露



模擬店



正面玄関

パフォーマンスで多くの方の笑顔を見ることができました。教室企画では、心理学会によるエゴグラム、PVSHによるアカベラ演奏などが行われ、4年ぶりに実施した模擬店も大盛況となりました。

さらに、今回初めて星が丘キャンパスと合同でキャンパス全体を使った謎解き企画を実施し、両キャンパスに足を運んで楽しんでいただくこともできました。

今年も2日間で昨年の約2倍である6537人の方が来場し、淑楓祭を楽しんでいただくことができました。最後に第48回淑楓祭にご尽力いただきましたすべての方に厚く御礼申し上げます。

花

々が咲き誇るように笑顔いっぱい淑楓祭にしたい…。今年度のテーマ「咲(えみ)」にそのような思いをのせて第48回淑楓祭を迎えました。

コロナ禍後初の大型企画を復活し、ご来場いただいたお客様、出演団体の皆様、協賛企業の方々に支えられてやり遂げることができました。昨年度を上回る1838人の方にご来場いただき、活気ある淑楓祭となりました。

1日目は体育館特設ステージにて金城学院大学ダンス部BEATや星ヶ丘軽音楽部の発表等、学内外の団体によるステージ企画を開催し大変盛り上がりしました。

2日目は記念講堂にて俳優の藤原大祐



ステージ企画



模擬店



子ども企画ゲームセンター



階段装飾



バスボム作り

最後にありますが、ご協力いただいた関係者の皆様、お越しいただいた全体的お客様に実行委員一同心より御礼申し上げます。

星が丘キャンパス

両キャンパスの大学祭実行委員長によるレポートです。

● 沖縄研修旅行

11/4(土)～7(火)

中学校

中

学3年では、昨年度から沖縄研修旅行を実施できるようになりました。昨年度はマスクを着用、食事は黙食、何かする度に手指の消毒、歌うのも禁止で、制限の多かった研修旅行でしたが、今年度はほとんど制限のない研修旅行になりました。パーティーのない食卓で、楽しく会話をしながら食事ができました。バスガイドさんの唄に合わせて掛け声や合いの手を入れたりできました。ホテルではエイサーショーを実施することができました。研修旅行に行っていた時期と研修旅行に行けなかった時期を知っているだけに、普通のことができる有難みを改めて感じる事ができました。また、今年度の中学3年生も愛知淑徳に入学してから初めての学年全体の宿泊行事だったこともあり、楽しい沖縄研修旅行になったのではないのでしょうか。

沖縄を訪れる意義としては、沖縄独自の自然・風土・歴史・文化を体感することです。昨今、情報機器が進化し、オンラインやリモートなどの便利な機能が溢れています。しかし、沖縄を学ぶ、知るといふ観点では、実際に目で見て、肌で感じた方が勉強になると考えています。そして、「戦争と平和」を考えることを最大の目的にしています。戦跡を巡り、過去から現在に至る歴史について、感受性豊かなこの時期に考え、主権的な考えをもってもらいたいと思います。



慰霊祭



ひめゆり平和記念資料館



中城城跡



美らSUNビーチ



国際通り



ガンガラーの谷

高等学校

● 九州研修旅行

10/23(月)～27(金)

高

校2年生の研修旅行は、10月23日から27日まで北九州を中心に実施されました。今年度も1日目に吉野ヶ里遺跡、2日目に熊本城・雲仙、3日目に長崎で平和学習、4日目に長崎市内の班別研修、5日目に太宰府天満宮という行程で、九州の特色ある文化・歴史・社会・自然について学びました。今年の2年生はコロナ禍のため今回が淑徳生活初の宿泊行事でしたが、コロナ等感染症の影響もなく、5日間晴天に恵まれ、仲間と寝食を共にすることで絆を深め充実した4泊5日となりました。

平和学習は本校の研修旅行の目的の1つであり、事前に映画鑑賞を行い、総合探究や国語などの授業での学びを経て現地に足を踏み入れます。長崎にて原爆資料館、戦争遺跡、被爆体験講話、慰霊祭を体験しました。城臺美彌子さんによる体験講話では、被爆者だからこそその反戦への思いの強さに触れ、「長崎を最後の被爆地に」「戦争を過去のものにするのではなく向き合い続けるべき」「今ある平和に感謝」など生徒たちの感想がありました。慰霊祭では研修旅行委員が平和宣言文を読み上げ学年全員で黙祷を捧げます。宣言文中の「ピリヨクだけどもリヨクじゃない」という高校生平和大使の言葉に勇気をもらい、世界の平和な未来へ向けて自問自答する一步を踏み出したようです。

現在は事後探究に取り組んでいます。自分の興味関心のあるテーマごとにクラスを越えたグループを作り、九州で見聞し肌で感じたことをもとに、未来へ向けての問いを立てて考察してゆきます。何を感じ考えどう繋がっていくのか、探究内容・結果・発表が楽しみです。



熊本城



慰霊祭献花



吉野ヶ里歴史公園



眼鏡橋



浦上天主堂